

平成29年度地方創生ストリートミーティング【若手経済人編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	シングルマザーを呼び込む施策を行っては。人材不足の解消にもつながるし、市内には独身男性もたくさんいる。	本市では、保護者の勤務の多様化に対応した保育施設での一時預かりや休日保育の実施、また、「地域子育て支援センター」など地域全体で子育てを支援する拠点の充実を図りながら、誰でも安心して子育てできる環境づくりを推進しています。今後も本市の優れた子育て環境や移住支援制度のPRをしっかりと行いながら、幅広い世代の移住促進に取り組んでまいります。	地域振興課
2	中小企業等への市の支援事業などたくさんあるが、知らない事業者が多い。個別の説明は難しいと思うので、支援制度の説明動画などをネットで公開したらどうか。	中小企業等への支援制度の周知は、支援策や相談窓口をとりまとめたパンフレットや市公式HP、市報などで行っています。また、新たな支援メニューについては、商工会議所などの各経済団体へ説明を行うとともに、各経済団体の会報などを通じて個別事業者へ周知していただくなどの連携を図っており、意見を踏まえて、今後、周知の回数を増やしていきます。	経済・雇用戦略課
3	新規創業・開業支援事業の中で鳥取市は全額で50万円補助となっているが少ない。	リノベーションを活用した民間まちづくり事業に対し、集中的に投資・融資を行う制度に充実を図ります。 投資に関しては、8,000万円のファンドを金融機関と連携し組成し、融資に関しては、上限3,500万円の融資商品の利子補給を行うことで、事業者負担を減らす予定です。 (参考) 3,500万円を10年(うち元金据置1年)で借り入れた際の本市からの利子補給は総額約325万円と大幅に拡充されます。	経済・雇用戦略課
4	零細企業に大学生は入社しない。高校生に地元企業の職場体験してもらいたい。	現在、鳥取市雇用促進協議会の事業で高校生の地元企業見学会を実施しており、平成29年度は、鳥取県東部圏域の高校7校516人の高校生が参加し、19社を訪問しました。中学生については、2年生が市内の事業所等で職場体験する「ワクワクとっとり」事業がありますが、高校生の職場体験事業についても、同協議会事業で導入できないか検討したいと考えます。	経済・雇用戦略課

平成29年度地方創生ストリートミーティング【若手経済人編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
5	<p>28歳の成人式をやってほしい。 28歳は結婚を考えたり、家建てるかどうか考えたり、職場である程度仕事を任される時期。大阪、東京などで同窓会のような成人式をやると、結婚したり、Uターンのきっかけになる。</p>	<p>本市へのUターンを考えている方やその保護者への情報提供制度として、平成27年度から「Uターン登録支援制度」を行っています。当面はこの制度を利用してもらうよう周知を図るとともに、提案いただいた同窓会については今後検討してまいります。</p>	地域振興課
6	<p>市役所跡地に大学の学部が来ないか。学生が来るとまちがにぎやかになるのでは。</p>	<p>平成31年秋に予定している幸町への市庁舎機能の移転に伴い、未利用地となる現本庁舎及び第2庁舎敷地は、立地・面積等の面で本市の貴重な財産です。よって、その活用を図るにあたっては、本市の将来を見据え、全市的かつ幅広い観点から慎重かつ十分な検討を行う必要があります。このため、学識経験者等、さまざまな分野の有識者等からなる検討委員会を設置し、幅広い観点から検討を行っていきます。</p>	政策企画課

○その他意見

- ・市内の中小企業、特に人数がいる会社の経営は厳しい。
- ・会社を子どもに継いでほしいが、不安。